



特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(51) 国際特許分類6 H04N 7/24		A1	(11) 国際公開番号 WO96/33573
			(43) 国際公開日 1996年10月24日(24.10.96)
(21) 国際出願番号 PCT/JP96/01074 (22) 国際出願日 1996年4月19日(19.04.96) (30) 優先権データ 特願平7/120509 1995年4月21日(21.04.95) JP		(81) 指定国 JP, KR, US, 欧州特許(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE). 添付公開書類 国際調査報告書	
(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) ソニー株式会社(SONY CORPORATION)[JP/JP] 〒141 東京都品川区北品川6丁目7番35号 Tokyo, (JP) (72) 発明者：および (75) 発明者／出願人 (米国についてのみ) 上原健志(UEHARA, Kenji)[JP/JP] 〒141 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内 Tokyo, (JP) (74) 代理人 弁理士 杉浦正知(SUGIURA, Masatomo) 〒170 東京都豊島区東池袋1丁目48番10号 25山京ビル420号 Tokyo, (JP)			

(54) Title : DEVICE AND METHOD FOR CODING MOVING IMAGE

(54) 発明の名称 動画像の符号化装置および符号化方法

ビデオ入力 a	1B 1I	2B 2I	3B 3B' 3I	4B 4B' 4P	5B 5B' 5P	6B 6I	7B 7P	8B 8P	
CUR_M		2 2 2 2	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3 3 3	3 3	2 2 2 2	2 2	
フレーム遅延量 b		1 3 1 3	0 3 3 0	3 3 0 3	3 3 0 3	3 3	1 3 1 3	1 3	
MC	現在 c	1I 1B	2I 2B	3I 3B 3B'	4P 4B 4B'	5P 5B 5B'	6I 6B	7P 7B	8P 8B
	順方向 d			1I 2I 2I 3I	3I 3I 4P 4P 4P	5P 6I 6I 7P 7P			
	逆方向 e		1I 2I 3I 3I	4P 4P 5P 5P	6I 7P 8P				
ビットストリーム f	1I 1B	2I 2B	3I 3B 3B'	4P 4B 4B'	5P 5B 5B'	6I 6B	7P 7B	8P 8B	

- a ... video input
 b ... amount of frame delay
 c ... present
 d ... forward
 e ... reverse
 f ... bit stream

(57) Abstract

The period M of the pictures whose picture coding type is I or P during video input changes from 2 to 3 and vice versa. The CUR_M represents the present M number and the maximum M number MAX_M in a sequence is 3. A MAX_M frame delay is given to the pictures (1B, 2B, and so on) whose picture coding type is B and a MAX_M-CUR_M frame delay is given to the pictures (1I, 2I, and so on) whose picture coding type is I. Thus, a bit stream is formed by generating a coding order sequence and performing predictive coding.

(57) 要約

ビデオ入力中のピクチャコーディングタイプのIまたはPピクチャの周期Mが2、3と変化する。CUR_Mは、現在のM数を表している。また、時間的に連続するシーケンスの中で最大のM数MAX_Mが3である。ピクチャコーディングタイプがBであるピクチャ(1B、2B等)に対しては、MAX_Mのフレーム遅延を与える。ピクチャコーディングタイプがIであるピクチャ(1I、2I等)に対しては、MAX_M - CUR_Mのフレーム遅延を与える。このようにしてコーディングオーダーのシーケンスを形成し、予測符号化を行い、ビットストリームを形成する。

情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出版をパンフレット第一頁にPCT加盟国を同定するために使用されるコード

AL	アルバニア	DE	ドイツ	LI	リヒテンシュタイン	PL	ポーランド
AM	アルメニア	DK	デンマーク	LC	セントルシア	PT	ポルトガル
AU	オーストラリア	EE	エストニア	LR	レソト	RO	ルーマニア
AZ	アゼルバイジャン	FR	フランス	LS	レソト	RU	ロシア
BA	ボスニア・ヘルツェゴビナ	FF	フィンランド	LT	リトアニア	SE	スウェーデン
BB	ババルバ	GG	ガイアナ	LV	ラトヴィア	SG	シンガポール
BF	ブルキナ・ファソ	GN	ギニア	MC	モナコ	SI	スロベニア
BG	ブルガリア	GR	ギリシャ	MD	モルドバ	SK	スロバキア
BB	ベナジン	HU	ハンガリー	MG	マダガスカル	SN	セネガル
BY	ベラルーシ	IE	アイルランド	MK	マケドニア共和国	SZ	ス威士ランド
CC	中央アフリカ共和国	IL	イスラエル	ML	マリ	TD	チャド
CF	中央アフリカ共和国	IS	アイスランド	MR	モーリタニア	TG	トーゴ
CH	スイス	IT	イタリア	MN	モンゴル	TM	トルクメニスタン
CI	コート・ジボアール	JP	日本	MX	メキシコ	TT	トリニダード・トバゴ
CC	コモロ	KE	ケニア	NE	ニジェール	UA	ウクライナ
CM	カメルーン	KR	韓国	NL	オランダ	UG	ウガンダ
CN	中国	KP	朝鮮民主主義人民共和国	NO	ノルウェー	US	アメリカ合衆国
CU	キューバ	KZ	カザフスタン	NZ	ニュージーランド	UZ	ウズベキスタン
CZ	チェコ共和国					VN	ベトナム

明 細 書

発明の名称

動画像の符号化装置および符号化方法

技術分野

- 5 この発明は、動き補償を用いた動画像の符号化装置および符号化方法に関する。

背景技術

M P E G (Moving Pictures Expert Group)規格に代表される動画像符号化方法が知られている。M P E Gでは、複数の画面データにより構成
10 されるG O P (Group of Pictures) 構造が採用されている。G O Pを単位として、ランダム・アクセスが可能とされる。また、M P E Gでは、ピクチャコーディングタイプとして、Iピクチャ、Pピクチャ、Bピクチャが規定されている。

Iピクチャは、Intra-Pictureの略であり、フレーム内符号化画像である。
15 ある。Iピクチャは、画面のすべてをイントラ符号化し、原画像と同じ順序で符号化される。Pピクチャは、Predictive-Pictureの略であり、フレーム間順方向予測符号化画像である。すなわち、過去の画像から動き補償予測される画像である。Pピクチャは、画面内の小ブロック単位の部分ではイントラ符号化を含む場合もあり、原画像と同じ順序で符号
20 化される。Bピクチャは、Bidirectionally Predictive-Pictureの略であり、両方向予測符号化画像である。すなわち、過去および未来の画像からそれぞれ動き補償予測される画像である。Bピクチャは、画面内の小ブロック単位の部分ではイントラ符号化を含む場合もある。

G O Pの中には、少なくとも1枚のIピクチャが含まれるものとされる。
25 る。1 G O Pは、N例えば15枚のピクチャ(0.5秒の時間)で構成され、IピクチャまたはPピクチャが周期M例えば3で現れる。Nおよ

びMの値は、規定されていないが、実用的には、Nが0.4秒から数秒に相当する値、Mが3から6程度に選ばれる。また、MPEG1では、ビット・ストリーム上で、GOPの最初は、Iピクチャであること、原画面順序でGOPの最後は、IまたはPピクチャであることが規定されている。

上述のMPEGの符号化方法において、時間的に連続するシーケンスをMを変化させて符号化した場合の処理を第6図に示す。Mを変化させることは、例えばフレーム周波数が25Hz（PAL方式等のテレビジョン方式の場合）、30Hz（NTSC方式の場合）と相違するテレビジョン方式の画像データを連続的に符号化する場合に必要とされる。他の例として、GOP単位の編集により二つのMが異なるデータを接続した場合にも、Mがシーケンス中で変化する。

第6図では、M=2の画像信号とM=3のものとの接続された例であり、ビデオ入力が原画像を示している。また、CUR_Mが現在のフレームに対するMの数を表している。さらに、B、I、Pの符号は、上述したピクチャコーディングタイプを表している。

Bピクチャの符号化処理では、IピクチャおよびPピクチャを先に処理した後で、その間に挿入されるBピクチャが符号化される。このために、符号化処理のピクチャの順序は、原画像の順序（ディスプレイオーダー）と異なったものとされる。すなわち、IおよびPタイプのピクチャに対しては、フレーム遅延を与えず、Bタイプのピクチャに対して、CUR_Mで指示されるフレーム数の遅延を与え、それによって、BタイプのピクチャがIまたはPタイプのピクチャの間に入るようになされる。第6図中で、MC（動き補償）の現在と表したものが上述したように、画像の順序をディスプレイオーダーから符号化処理の順序（コーディングオーダー）へ入れ替えたものである。

また、第 6 図において、MC の順方向と表したピクチャは、コーディングオーダーのピクチャに対して、過去のピクチャを表し、順方向予測のために使用されるものである。例えば 4 P で示すピクチャに対して、過去のピクチャが 3 I であり、このピクチャ 3 I を使用して順方向予測
5 がなされる。MC の逆方向と表したピクチャは、コーディングオーダーのピクチャに対して、未来のピクチャを表し、逆方向予測のために使用されるものである。例えば 2 B で示すピクチャに対して、過去のピクチャが 1 I であり、未来のピクチャが 2 I であり、これらのピクチャを使用して両方向予測がなされる。通信路に送出され、あるいは記録媒体に
10 記録される符号化出力は、コーディングオーダーのビットストリームである。MPEG の予測符号化は、ローカル復号され、動き補償された予測画像と現画像とのフレーム差分を DCT (Discrete Cosine Transform) で符号化するものである。

この第 6 図のコーディングオーダーのビットストリームにおいて、 M
15 $= 2$ から $M = 3$ へと変化した箇所では、1 フレームのデータが不足し、無信号区間が発生する。従って、復号化する場合には、時間軸を利用した補間、例えばその前の復号画像を繰り返すような前置ホールド（フリーズと称される）、あるいは前後の平均値で置き換える平均値補間によって、抜けたフレームデータを補間する必要がある。さらに、 $M = 3$ から
20 $M = 2$ へと変化した箇所では、1 フレームデータが詰まり、そのまま復号すると、5 B' で示すピクチャが欠落する。このように、 $M = 2$ の部分と $M = 3$ の部分の間では、時間的に 1 フレームのずれが生じ、また、 M の変化点でデータが欠落するフレームが発生する。

なお、第 6 図では、 M が 2 から 3 へ変化した場合について説明したが
25 、その他の M の値の変化についても同様である。 M の数の差が大きいほど、補間する必要があるフレーム数、並びに欠落するフレーム数が増大

する。

従って、この発明の目的は、符号化処理時に I ピクチャまたは P ピクチャの周期 M を変化させても、画像データの抜けや、時間軸のずれを生じることの防止することが可能な動画像の符号化装置および符号化方法
5 を提供することにある。

発明の開示

この発明は、時間方向の予測符号化を採用し、フレーム内符号化画像である、I ピクチャと、フレーム間順方向予測符号化画像である、P ピクチャと、両方向予測符号化画像である、B ピクチャとの 3 個のタイプ
10 の符号化画像を形成するとともに、I または P ピクチャが現れる周期 M を変化させるようにした動画像の符号化装置において、

入力画像信号が供給されるフレーム並び替え部を予測符号化の符号化部の前段に設け、

フレーム並び替え部は、入力画像信号に対して指示されたピクチャコーディングタイプと、現フレームの M 数を表す CUR__M と、時間的に連続するシーケンスの中の最大の M 数を表す MAX__M とを受け取り、
15 ピクチャコーディングタイプが I または P であるピクチャに対しては

$$\text{フレーム遅延} = \text{MAX_M} - \text{CUR_M}$$

20 B ピクチャに対しては、

$$\text{フレーム遅延} = \text{MAX_M}$$

で定義される、フレーム遅延を入力画像信号に対して与えるフレーム遅延制御部を有することを特徴とする動画像の符号化装置である。

また、この発明は、時間方向の予測符号化を採用し、フレーム内符号化画像である、I ピクチャと、フレーム間順方向予測符号化画像である
25 、P ピクチャと、両方向予測符号化画像である、B ピクチャとの 3 個の